

みなとっふ

Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2015年11月
Vol.28

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとっふ編集室



CONTENTS

2 暮らしプレイバック

石倉 悠吉さん
(高輪南町会会長)

地域で活躍する 若者たち

全国で唯一の
中学・高等学校ダーツ部、
世界にも挑戦!

3 この街にこの人あり

相羽 高德さん
(空間プロデューサー、アートディレクター)



4 5 地域のあしあと

高輪地区の坂②

6 ただいま夫婦で 子育て中

活かそう地域の 商店街

高輪泉岳寺前商店会

わたしだって 地域の一員!

花屋さんの看板ネコ

7 みなとっふ 子ども編集室

8 区からのお知らせ

表紙絵 ミシュランF-1リゾート
ビベンダム型のホテルとF-1レ-
ース場が一体となったリゾート施
設をデザイン

【作者】 空間プロデューサー、
アートディレクター
相羽 高德さん(白金台在住)



©TOKYO GOOD IDEA Development Institute Co., Ltd

国際化が進む高輪地区と 外国人へのおもてなし

港区には多くの外国人が住み、働き、学んでいます。また国内の半分以上に当たる80の大使館が港区にはあり、そのうちの9つが高輪地区にあります。外国人が滞在する宿泊施設も数多くあります。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、多くの外国人が訪れることが予想されます。さらに、JR田町・品川駅間新駅の設置、羽田空港とのアクセスの向上などにより、より一層国際化が進むと考えられています。

高輪地区では外国人をよく見かけますが、外国人とつきあがないという方も多いと思います。外国人は苦手と言わず、積極的に声をかけ、地域のイベントやお祭りに、お誘いできればと思います。

私の友人で、「高輪地区情報紙第7号」(2008年11月)に登場した、イツカ・スターンさん(アメリカ人女性、こけし収集研究家)は、以前8年間高輪に住んでいましたが、東北、鳴子温泉のこけし祭りに参加するため、今でも毎年9月にご夫妻で来日し、高輪に一月余り滞在します。

この「みなとっふ」を見るのも楽しみにしています。彼女が、初めて高輪で暮らし始めたとき、マンシヨンの管理人さん(仙台市出身)が、簡単な英語ながら親切に世話をしてくださり、とても助かったそうです。スターン夫妻のこけしの収集も、この管理人さんとの会話がきっかけでした。

それ以来、ご夫妻はこけしに魅了され、東北各地のこけし工房を訪ね歩き、こけしに人生をささげているといっても過言ではありません。イツカさんは日本に沢山の友達がいて、特に英語がほとんど通じない東北の小さな町々に、こけしの工人さんなど多くの友達がいいます。彼女によると、全てこけしのおかげですとのこと。彼女は簡単な日本語は理解できますが、やはり大事なことは、言葉よりハートということでしょうか。言葉が通じないからと逃げるのではなく、困っている外国人を見かけたら手をさしのべるなど、まずは身近なところから外国人との交流をはかることが大事だと思います。



石倉 悠吉さん

暮らしプレイバック

お話を伺った人 **石倉 悠吉さん** (72歳・高輪在住)

昔は空き地ばかりで「斜めに」歩けました。

三代にわたって高輪四丁目にお住まいの、高輪南町会会長の石倉悠吉さんに高輪四丁目周辺の移り変わりについてお話をうかがいました。石倉さんはレストラン「つばめグリル」の代表取締役社長で、銀座料理飲食業界の理事長も務め、ご多忙な毎日を送っていらっしゃいます。

高輪っ子です

高輪には祖父の代から住んでいます。祖父が鹿児島から出てきて商売を始め、食べ物関係のいろいろな仕事をしました。第二次世界大戦中は品川駅から出征する兵隊さんたちに天皇陛下からの煙草と羊羹を配布していたのですが、その羊羹を作っていた時期もありました。

私は1943(昭和18)年、戦時中に生まれ、逗子に疎開していました。そのころ口にしていた逗子の新鮮な食べ物

が、私の味覚の原点かもしれません。昔の野菜には力強い味がありました。高輪の記憶は幼稚園ぐらいからです。第一京浜道路沿いの、今はマンションのモデルルームになっているあたりに広場があり、そこで子どもたちはサッカーや三角ベースをして遊びました。

当時は家の周りに駄菓子屋や魚屋など商店があり、揚げたてのコロッケを売っていましたね。紙芝居も来て、いつも外で遊んでいました。空き地が多く、子どもたちは近所の人の庭先でも大目に見てもらって近道として通らせてもらい、目的地まで最短距離で行っていました。道の角を曲がったことはありませんでしたよ。昭和40年代の初めまで私の家から海が見え、海から吹く風が涼しくて、ごく最近まで家にエアコンがありませんでした。北品川の境目の高台まで行くと、富士山が見えました。この頃は次々と新しい建物が建ち、ふと、どこに

かわからなくなるような錯覚にとらわれることがあります。

品川駅の思い出

1951(昭和26)年、ちょうど8歳ぐらいの時でしょう。マッカーサー元帥が解任されて帰国する日、品川駅近くの第一京浜沿いに見送りに行ったことを覚えています。



京浜電鉄高輪停留場 昭和5年 (日本地理風俗大系、港区立港郷土資料館所蔵)

町会長として

町会長を務める高輪南町会は、2000世帯を超える大所帯です。町会区域の大半が住環境が大きく変わっていくのは避けられない現実と直面しています。町会では受け継いできた歴史と資産を時代変化から守るために活動をしています。

また、高齢化が社会問題となっていますが、高輪南町会でも町会員は高齢化の傾向にありますので、敬老の日に65歳以上の町会員を対象とした申込不要、参加費無料の介護予防健康イベントを開催しています。血圧年齢測定や骨健康測定が無料でできます。加えて、高輪警察署員による相談もありますので、地域の不安事などをお気軽に相談していただけます。その他にも75歳以上の町会員の皆様へは、心ばかりのお祝いのお菓子をお渡ししています。

一方、最近では小さなお子さんがいる世帯も増えてきているので、盆踊り、高山稲荷神社祭礼などの行事に加え、ハロウィンも加わりました。元気な高齢者と子どもたちの交流が生まれるようにと折鶴教室もおこなっています。このような活動で、地域の人々がみんな地域の子どもたちを安全に守り育てる礎になればと思っています。

(担当/森、土屋、安藤、吉田、明石)

地域で活躍する若者たち

全国で唯一の中学・高等学校ダーツ部、世界にも挑戦! ~高輪中学・高等学校ダーツ部~

学校のクラブ紹介でテレビ放映された高輪中学・高等学校のダーツ部を訪問しました。高輪学園は今年創立130周年という歴史のある学校です。ダーツ部は中学・高等学校では全国唯一という珍しいクラブです。クラブ成績も実績があり、今年10月にイギリスで開催されたワールドマスターズに選手を派遣しました。顧問の渡邊高志先生にご案内いただきました。

クラブの全体活動日は週2回で、各2時間練習をしています。現在、部員は中学生11名と高校生8名の19名です。練習は実践を想定し、スコアを付けながら進められます。皆さん、自分のそれぞれのフォームで直径35cm程度のダーツボード(的)に2.37m離れたところからダーツ(矢)を投げます。学校での練習の他、ボードを自宅に持って帰り自主練習をしている生徒もいます。練習は和気あいあいの雰囲気の中にも、礼儀を大切に、緊張感をもって行われていました。平成26年度の成績は、WDF(世界ダーツ連盟)ユースランキング/アジア・パシフィック地域1位、ジャパンオープン・ユースシングル優勝を始め多くの大会に出場しました。

ダーツはイギリスが発祥地です。スポーツダーツはボードの種類によりソフトダーツとハードダーツがありますが、高輪中学・高等学校で行っているダーツはハードダーツです。試合は3本のダーツを相手選手と交互に投げ合い、勝負を競うマッチプレー形式のスポーツです。501点を持ち点として得た点数を減らし、早く丁度0点にした方が勝つというゲームで、技術、戦略そして精神力が求められます。毎年ワールドマスターズがイギリスのハルで開催されますが、今年は高校2年の熊代舞楽さんが日本選抜メンバーとして男女あわせて9名の選手と一緒に参加し、日本初のユース選手として出場しました。

練習を見て感じたことは、顧問の渡邊先生と生徒の距離感が非常に近く感じられ、クラブ全体が温かい雰囲気のなかで、若者たちが自由に力を発揮している様子でした。

熊代舞楽さんにインタビューしました

Q.いつ頃からダーツを始めましたか?

中学に入ったころはダーツの存在は知りませんでしたが、中学2年の時に友達(現在の副部長)に誘われ入部しました。

Q.クラブ活動で何を大切にしていますか?

部員同士の関わり合いをもっと大切にしています。また、大人の大会にも出場することが多いので、挨拶は普段から気をつけています。自分から率先して行い部員にも徹底しています。

Q.卒業後もダーツは続けますか?

自分のぶれない体型はダーツに向いていると思っていますし、楽しいと感じていますので、将来も続けるつもりです。



ワールドカップ出場の熊代舞楽さん



全員集合して練習開始ミーティング



それぞれの部員が積極的に練習



直径約35cmのダーツボード

ハードタイプのスチールダーツ

(担当/太田、安藤)

この街にこの人あり

空間プロデューサー、アートディレクター
相羽 高德さん

「訪れた方に期待以上の世界を提供すること」が私のモットーです

新横浜ラーメン博物館や羽生パークキングエリア「鬼平江戸処」などのプロジェクトを手がけた空間プロデューサー相羽高德さんにインタビューをお願いしました。白金小学校向かいのレトロ風の不思議な形をした建物の5階に相羽さんのアトリエがあり、記者5人が訪れお話をうかがいました。

いろいろなプロジェクトをてがけていますが、発想の原点はどこにありますか？

ディズニールンドと迷路です。小さい頃からディズニールンドが大好きで、ディズニールンドが私の学校であり先生でした。ディズニールンドから学んだことがすべて作品に生かされています。私の最初の作品は、迷路のデザインです。迷路を完成すると絵が浮かび上がるという手法が考えました。これが好評で雑誌「ポパイ」に連載し、迷路作家としてデビューしました。

新横浜ラーメン博物館で工夫された点は？

1994年に完成し、当時、日本では



【プロフィール】相羽 高德 (あいば たかのり)

1953年、神奈川県横浜市に生まれる。雑誌「ポパイ」の連載を皮切りにフリーのイラストレーター、MAZE (迷路) 作家として脚光を浴びる。新横浜ラーメン博物館、すかいらく「GUSTO」をプロデュース。翌年、「日経流通新聞」年間優秀製品賞受賞。箱根☆サン＝テグジュベリ星の王子さまミュージアム、NINJA AKASAKA (赤坂)、NINJA NEWYORK (ニューヨーク)、NINJA KYOTO (京都)、Pink-latte (原宿店) などを手がける。2013年、羽生PA「鬼平江戸処」(東北自動車道・上り)を完成。2014年、第33回ディスプレイ産業大賞・経済産業大臣賞を「鬼平江戸処」により受賞。

初めてのフードテーマパークでした。

まず、うまいラーメン店を集めるため、スタッフとともに全国のラーメン店を訪れ、試食しミシュランのように採点しました。一日のラーメンの試食は4食が限界でしたが、何日もかけ、その中からうまいラーメン店を選び、誘致しました。誘致したどのラーメン店もおいしいです。

ラーメンを食べる雰囲気を出すため、路地や屋台がある昭和33年頃の下町の街並みを再現しました。ラーメン、チャルメラ、夕焼けという街の情緒感を演出しました。食べることに古い街並みを合わせた食のテーマパークは大成功で、当時何もなかった新横浜駅前の目玉の施設になり年間100万人を超える来場者がありました。全国のフードテーマパークブームの先駆けとなりました。



新横浜ラーメン博物館

ナショナルジオグラフィック社出版の「いつかは行きたい一生に一度だけの旅 世界の食を愉しむ BEST500」の中の食の博物館の部門で4位に選ばれました。

RESTORANT NINJA AKASAKA の人気

店に入るといきなり忍者の格好をした店員が来て、お客様を食べる場所までご案内します。登ったり、下ったり、曲がったりさせて、お客様は完全に方向感覚を失って食べる場所にとどろきます。お客様が異次元の世界にきたようにしかけています。出てくる料理も予想外です。京都やニューヨークにも同じような店を出しています。

パークキングエリア「鬼平江戸処」の反響はいかがですか？

羽生パークキングエリアで小説鬼平犯科帳に出てくる江戸の街を再現しました。

高速道路と江戸の街という意外な組み合わせを受けて、入場者は1・6倍になりました。

江戸の街並みを再現するために、細部にわたるまでじっくりデザインしました。またエイジングという新しい建物も古びたように見せる技法も駆使しています。鬼平犯科帳にでてくる小道具をあちこちに置き、来た人は小説の世界に入ったような気分になります。



鬼平江戸処

プロジェクトを成功させる秘訣は？

「訪れた方に期待していた以上の世界を提供すること」、「想像していた以上の感動をもたらすこと」が成功の秘訣です。それには、細部に至るまで手を抜かないこと、仮想の世界を徹底してつくることです。訪れた方はそのことを一番親しい人に必ず話します。評判は口コミでどんどん広がり、来場者も増えていきます。

盆栽とオブジェを組み合わせた作品をつくっていますが？

本日はツリーハウスをつくってそこに住んでみたかったのですが、盆栽と建物のオブジェを組み合わせるその世界を実現したのです。盆栽は矮小化された自然で、その中に私が想像したミニチュアの城のような建物をおきました。新しいミニチュアの世界が広がってきました。自分の遊び心から創った作品ですが、世界の美術館から展示の依頼が来ています。どのような方法でお仕事をされていますか？

アイデアを考えているのはいつも映像や画像で、文章では

あまり、考えていません。

寝ている時にぱっと思いつくことがあります。それをスケッチで書き起こしたりします。遊びと仕事の区分があまりはつきりしていません。いつも妄想の世界にいるようなものです。

高輪地区の街についてのご感想は？

こちらに来て30年近くになります。住まいも仕事場も白金台にあり、このあたりをうろろろしているの、みなさんにもお会いするかもしれませんね(笑)。街もきれいで大好きです。目黒通りの沿道がどんどん変わっていくのを面白く観察しています。

これからやりたいお仕事は？

私の生涯のテーマの一つは「日本の文化の魅力の世界に発信する」ことです。世界中の人が訪れるニューヨークのど真ん中に日本食のフードテーマパークをつくるのが夢です。構想を練っているところです。

取材を終えて

人の持つてある遊び心を引き出すことが上手な相羽さん。お話をうかがっているだけでいつの間にか「相羽ワールド」に引き込まれてしまい、楽しみながら、わくわく、どきどきするインタビューでした。

(担当/安藤、太田、松島、伊関、川上)



Photo: Kenji MASUNAGA (Nacasa & Partners)

盆栽アート

① 日吉坂 *hiyoshi-zaka*

桜田通り清正公(寛林寺)下から都ホテル前の広く緩やかな坂。この坂は江戸時代は相模国の大山に通じる大山道の1つでもあった。坂の中腹に正源寺がある「江戸切絵図」をみるとこの寺の西側一帯は早道場とよばれていた。辻斬り、追剥が出て、人を脅かしたので通行人は皆足早に通り過ぎたという。今の閑静な住宅街からは想像もつかない。坂の近くに日吉喜兵衛という能役者が住んでいたことから日吉坂という名前になったと伝えられている。



現在の桑原坂



古地老稲荷神社

坂を上ると目黒通りの日吉坂上の交差点にでる。交差点を東南へ下ると、桑原坂*に入る。ここ芝白金はかつて今里村といい、今里村の字の1つである「桑原」が坂の名前になったといわれる。むかし、このあたりに桑が植えてある原であったという説もあるが定説はない。

坂上左の八芳園ならんで「古地老稲荷神社」がある。由来書きによれば、江戸の昔から火伏の稲荷信仰が盛んで、この神社は1830(文政13)年に日吉坂上に鎮座され、その後、現在地に遷宮された。以来、周辺地域に火事が起こらないことから「火伏の稲荷」とみなされるようになった、とある。



1846(弘化3)年の桑原坂・三葉坂(三光坂)・日吉坂(港区立港郷土資料館発行「増補港区近代沿革図集」所収)

② 三光坂 *sankou-zaka*

白金北里通りの三光坂下交差点から専心寺の前を目黒通りへ向かう坂道。急な坂下に比べ坂上は緩やかな道が続く。徳川三代將軍家光が鷹狩りの際、専心寺に立ち寄り、寺にあった松が珍しく三葉だったことから三葉の松と名付けたことで寺の前の坂道を三葉坂ともよび、一方で土地の人々がその松を三結(仏教の法具である金剛杵の一種)の松と呼んでいたことから三結坂だったともいう。三結が三光に変わっていったのは日・月・星の3つの光が由来との説もある。

江戸初期、この地一帯は、山と畑だった。山へ通じるこの坂道は当時「けものみち」といわれタヌキやキツネが出没したようだ。その後、坂上の山を切り開き大名の屋敷が多く建てられ、次第に人が行き来する坂道へと変わっていったといわれる。

1909(明治42)年、小学生だった作家大佛次郎は(三光坂下の実家から)「白金小学校に通学する毎日、三光坂を上する。その時分は、市中の急な坂の下には車の後押しをする立ん坊と言うのが職業になったので、三光坂の下にも、冬の朝など彼らが二、三人で焚火をかこんで車が来るのを待っているのを見かけた。」と「私の履歴書」(日本経済新聞 1964(昭和39)年12月18日掲載)に書いている。



現在の三光坂

地域のおしあと 高輪地区の坂 ②

今号は前号に引き続き、高輪地区の坂を訪ね、坂の由来やエピソードなどを探ってみました。今回は高輪地区にある多くの坂のなかの一部だけの掲載でしたが、みなさんも「みなとつぷ」を片手に坂の由来などに思いを馳せ散歩してはいかがでしょうか。



③ 柘榴坂 *zakuro-zaka*

品川駅高輪口前の信号から西へ真直ぐ上がる坂。坂名の由来は伝わっていない。

江戸時代にはもっと南側(御殿山寄り)に登り口があって、途中で右へ折れさらに左へ曲がるカギ型の坂だった。明治になり下部が直通して現在の一直線の坂になり、新坂とも呼んだ(江戸切絵図参照)。

昔の入り口近くにあるのが高山稲荷神社。およそ500年前の創建で、その名の通り元は200余段の石段の山上にあり、後に現在の場所に移された。その後道路拡幅により敷地が小さくなったが、今でも地元の鎮守の神として親しまれている。

江戸時代には坂の北側は薩摩藩下屋敷(高輪屋敷)であった(江戸切絵図の「薩州殿」のところ)。江戸城無血開城に向けて勝海舟と西郷隆盛が芝の薩摩藩蔵屋敷で会談したことは知られているが、実はその前日に1回目の会談をしたのがこの下屋敷(高輪屋敷)であり、歴史の隠れた舞台でもある。

坂を登って途中の右手奥には高輪森の公園があり、区民の憩いの場となっている。明治以降は宮家の邸宅として使われ、園内にはそのころの流路や石垣などの庭園遺構が見られる。

自然の景観を利用し、斜面に散歩道をつけたシンプルで静かな公園だが、ゴールデンウィークなどには港区のプレーパークとしてのイベントがあり、賑わうこともある。



プレーパーク



江戸切絵図(港区立港郷土資料館所蔵)



現在の柘榴坂

④ 魚籃坂 *gyoran-zaka*

魚籃坂の名は1652(承応元)年に魚籃寺が坂の中腹に来て、その名が起きたと言われている。魚籃寺の美しい魚籃観音見たさに芝浦の漁師たちの信仰を集めたという。

江戸時代の魚籃坂は、少し曲がりくねっていたがその後、大正・昭和の時代に坂道の様子を変えている。

もっとも大きな変化は1919(大正8)年の市電(後に都電)の開通による。市電の開通前は、荷馬車・荷車を引く人が宙吊になるほど坂の傾斜が急で、「立ん坊」と呼ばれる荷馬車・荷車を押す職業があったほど。この急な坂をなだらかにし、市電の往復や乗客の乗り降りを可能にするために道路が拡張された。

この時すでに国産の乗合自動車や、日本ガソリン車も開発されていた。市電開通から12年後に、三田四丁目(に)居をかまえた作家牧野信一の「魚籃坂にて」によると「寺町で樹木が多いので到底市中とは思はれぬやうな昆虫類が棲息して」と書かれているほど郊外であったとされている。

市電開通から45年後1964(昭和39)年の東京オリンピックの開催に伴いインフラ整備が急速に進められた。当時の東京都の人口約1,000万人、自動車の数約100万台にふくれあがり、都電は交通渋滞で動きが取れなくなっていた。

1969(昭和44)年魚籃坂を走る都電は廃止され、線路も撤去され今の魚籃坂の姿となった。



魚籃寺付近の坂道を描いた石版画 (『新撰東京名所図会 芝区之部 其二』明治35年、魚籃寺所蔵)



現在の魚籃坂



昭和38~40年頃の魚籃坂の花まつり(魚籃寺所蔵)

＜参考文献＞「大江戸坂道探訪」山野 勝著(朝日文庫)／「増補 写された港区二(高輪地区編)」(港区教育委員会)／「東京都統計年鑑」(東京都総務局)

ただいま

夫婦で子育て中

赤ちゃんが生まれたら保健所や病院の乳幼児健診で、発育チェックや育児の相談を受けられますが、それ以外にも、母子手帳にとじこまれたハガキを投函すると自宅で「こんにちは赤ちゃん訪問」が受けられます。

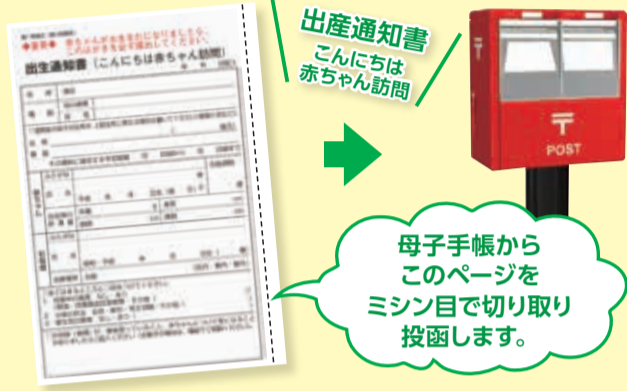


高輪子ども中高生プラザの子育て広場にて

港区

こんにちは赤ちゃん訪問

生後約120日以内の赤ちゃんが生まれたご家庭に、助産師さんや保健師さんが訪問を行い、身体測定やお母さんの体調、育児の不安などの相談に応じます。また子育て支援情報の紹介も行っています。



出産通知書
こんにちは
赤ちゃん訪問

母子手帳から
このページを
ミシン目で切り取り
投函します。

高輪

ほっとひといき子育てサロン

1歳未満の乳幼児と保護者のお友達づくりを支援します。自己紹介や情報交換が気軽にでき、ミニ講座もあります。また個別に体重測定や保健師さんや助産師さんに育児相談もできます。

高輪

ほっとひといき子育て相談

子育てや保護者本人の体調について、個別に保健師さん、助産師さん、管理栄養士さんと相談が出来て不安解消のきっかけになります。計測のみもできます。会場にて先着順に受け付けます。(中高生プラザ、白金台児童館)

高輪

ばばママ育児相談

子育てや保護者の体調についてパパもママも参加して土曜日に相談が出来ます(毎月1回)。疑問や悩みをプラザ職員さん・保健師さん・助産師さん・管理栄養士さんがうかがいます。会場にて先着順に受け付けます。(中高生プラザ)

港区

子どもを預ける

家庭で乳幼児を育てている場合に、子どもを一時的に短時間預ける施設があります。区内に在住の集団保育が可能な0歳4か月～6歳(未就学児)が対象です。出産、病気やけが、冠婚葬祭、学校の保護者会などやむをえない場合や、美容院に行く場合など理由を問わず利用できます。

(担当/土屋、本城、松高)



高輪泉岳寺前商店会会長 石川 進さん

新駅と共に発展する 高輪泉岳寺前商店会

予定されているJRの新駅近くの高輪泉岳寺前商店会会長、石川進さんから話をうかがいました。石川さんは高輪に三代暮らす高輪っ子です。

■新駅名 商店会の一押しは「高輪」

新駅ができる決まり、真っ先に頭に浮かんだのが新駅の名前を「高輪」にしたいということです。港区議会議長宛に請願書を提出、署名活動も始め、ポスターを作り、積極的に動いています。以前は肉、魚、野菜の生鮮三品が揃い、銭湯もあって地域の方々の生活に密着した商店会でしたが、今では、週末、夜間の人口が低い地域となり、商売の形態もそれにつれて変わってきました。新駅ができれば、また、その変化に合わせて商店会も変わっていかねばならないでしょう。

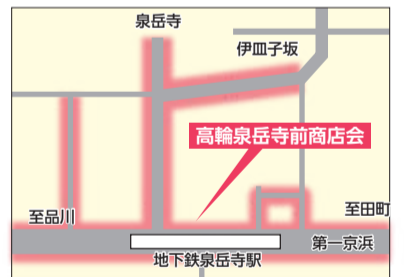


キャンペーンポスター

■これからも地域と共に

商店会が開催する40年ほど続く盆踊り大会は、櫓も手作り、東海大学の学生さん、お子さんたちの太鼓の演奏などで盛り上がり、今も地域の方々に深く愛されています。この盆踊り大会では、特に豪華賞品が当たる抽選会が人気で、一等が東京ディズニーリゾートのワンデーパスポート、二等以下は高輪泉岳寺前商店会の商品券で、会場で結果が発表されます。とても、盛り上がりますよ(笑)。年末は、12月1日から15日まで、商店会をあげての大売り出しです。お客様には、毎年お買い上げ金額に応じた粗品を差し上げ、とても喜んでいただいています。

華やかな太鼓のリズムのなか、踊り、しゃべり、食べ、飲む人々の笑顔。商店会を中心に、こうして地域の交流が生まれ、続いていくのだなあと思いました。



(担当/森、土屋、安藤)

わたしだって地域の一員!

■お花に負けないキュートなネコちゃんたち■

白金6丁目にある、素敵な祝い花や楽屋花が専門のお花屋さん、お花のアレンジメントをしているのは飼い主の小林あずささんで、現在9匹のネコちゃんたちの優しいママです。このネコちゃんたちは、里親ボランティアさんやご近所の方に保護されて、小林さんのところにやってきました。お店番をしているのはその中の4匹で、ネコちゃんに会うのが楽しみで来店されるお客さまもいらっしやいます。

写真左は、一番人懐こい三毛トラのピリカちゃん(アイヌ語で“美しい”という意味です)、その後ろにいるのは、細めた目がクールな白灰模様のアナゴちゃん。2匹とも一歳ちょっとです。

ピリカちゃんには、8匹の兄弟がいましたが、ほかの子猫はもらわれていき、小林さんは体が一番弱かったピリカちゃんを引き取りました。

動物病院で検査したところ、お腹の中にコクシジウムという寄生虫がおり、克服するのにとても大変だったそうです。仲良しのアナゴちゃんはピリカちゃんに寄り添い、湯たんぽ替わりになって体を温めていました。今ではすっかり元気になり、花のアレンジで使う風船や羽飾りが大好きで(すぐに壊してしまうのですが)毎日お店の中で自由気ままに遊んでいます。

「お外で猫ちゃんを保護したら、一番先に寄生虫検査をすることが大事です。」と小林さんはおっしゃっていました。

(担当/田口、滝川)



Pirika & Anago

小林あずささん撮影



みなとっぴ

子ども編集室



11月7日に行われた「あっぷリング高輪フェスティバル」、
「輪い輪いまつり」では、今年も小さな記者たちが元気いっばいの取材をしてきてくれました。おそろいの腕章を付けた子どもたちは、どこか誇らし気の様子。取材への意気込みが感じられました。「なぜ?」「どうして?」と思ったらすぐにインタビュー開始です。一生懸命考えた質問をぶつけるのは緊張しますが、知らなかった発見がいっぱいありました。「どうすれば面白い記事になるかな?」と考えながら書いた子どもたちの記事。いったいどんな仕上がりになったのでしょうか。



かんなスルスル

ひはるのがむずかしかった。
けずりがすかだあたたくて
いいにおいが
しました。
たのしかった。



おそろいロボットでゲームのいろ

いちばんびっくりしたのは28じかんもかけてつくったということ
です。じぶんがやってみるとろ分
9びょうかかりました。おとなのさ
いこうきくは1分
ろびょうでした。



●長坂 瑚子記者(小2)、尾辻 佑記者(小1)

輪い車輪いまつり

わくわく木工体験

まず最初にかんなけずり体験を
ほした。一番おどろいたのは長さです。
プロと初心者の長さの差がとても
大きかったのでびっくりしました。
左がプロで右が初心者です。たけり
2倍でした。
そしてえんぴつのキーホルダーを作り
ました。一番楽しかったのはヤギこ
で名前をほるところです。
そしておどろいたのは、こちらもま
の木の木を使っている事です。



えんそうしている様子



リコーダーの種類



ニュージック
シンフォニー
オブリガト
ミニエー
音が面白い順に
ソプラノ
アルト
バテース
これはおれ
の曲はえん
きそつてえん
えんそつ
はえんそつ
かおつ
んがた

●ラブデ 笑実花記者(小5)、日下 健記者(小5)、長坂 俐玖記者(小4)

安藤編集長から一言

みなさん、取材にも記事作成にも、とても熱心に取り組んでいましたね。
どのグループもそれぞれの方法で、少ない時間の中、上手にまとめていました。
記事を完成させる楽しさがわかりましたか?

えんぴつとふうせん

えんぴつのキーホルダーをつくりました。
けずるとよこにきかだんだしのぼて
いく。ぎぎぎした、ぬのでけずりま
した。さいごにか
でけずりたけ
でがつるつるしました。

じぶんできてるおもしろかた

なんであんなにはやく、われないてできるん
ですか? わたしはききました。ふうせんがすごくき

だからピエロさんがいい
ました。どうやればやくでき
るんですか? おともたちがい
いました。はやくたくさんの人
にあげたいから、といいました。みて、たのしかったです。



●有川 由紀美記者(小1)、桑田 陽介記者(小1)

区からのお知らせ

コミュニティ・カフェ高輪のご案内

高輪地区CCクラブが主となり運営しているカフェです。地域の方が気軽に集い、交流する場をつくることで、地域コミュニティの活性化を図ることを目的にオープンしています。

ふらっと立ち寄って、一息できるカフェです。ぜひお誘い合わせの上、当日直接カフェへお越しください。お待ちしております。

- 対象** どなたでも
- とき** 毎月第2・4金曜日
午後1時30分～4時30分
※12月25日(金)を除く
- ところ** 高輪コミュニティぶらざ2階
展示ギャラリー前
- 費用** 無料



【問合せ】高輪地区総合支所協働推進課地区政策担当 TEL:03-5421-7123

北里大学 大村智 特別栄誉教授、ノーベル生理学・医学賞受賞決定

北里大学(学校法人北里研究所/港区白金)の大村智特別栄誉教授の2015年ノーベル生理学・医学賞受賞が決定しました。北里研究所は、北里柴三郎博士が1914年に港区白金の地に私立北里研究所を設立したのが始まりです。現在は大学、附置研究所、専門学校、病院を擁する学校法人に成長しました。北里柴三郎博士は1880年代のドイツ留学中の功績により、第1回のノーベル賞候補者であったといわれています。残念ながらその時は受賞を逃しましたが、1世紀の時を経て、今回の大村教授の受賞となりました。今回の受賞は寄生虫の予防・治療薬「イベルメクチンの発見」が評価されたものです。イベルメクチンはアフリカ、中南米などの熱帯地方に蔓延し、患者の2割が失明する恐ろしい河川盲目症(オンコセルカ症)と患者のリンパ系に大

きなダメージを与え、足が象の足のよう大きく腫れ、社会活動が大きく損なわれるリンパ系フィラリア症(象皮症)の予防と治療のために年間3億人に使用され、これらの病気の撲滅に多大な貢献をしています。港区高輪地区総合支所及び北里大学キャンパス内に大村教授に関するパネル展示をしておりますので、ぜひお立ち寄りください。



【問合せ】学校法人北里研究所総務部広報課 TEL:042-778-7883 高輪地区総合支所協働推進課地区政策担当 TEL:03-5421-7123

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の申請はお済みですか?

平成26年4月からの消費税の引上げ(5%から8%)による影響を緩和する措置として、「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。対象となる方には、9月下旬に申請書を送付しました。申請受付は平成28年1月15日(金)までとなりますので、申請がお済みでない方はお早めに申請をお願いします。

臨時福祉給付金

対象者 平成27年1月1日時点で港区に住民票がある人で、平成27年度分の区民税(均等割)が課税されていない人
※区民税が課税されている人の扶養親族等、生活保護制度の被保護者は対象外です。

給付額 給付対象者1人につき6,000円

子育て世帯臨時特例給付金

対象者 平成27年5月31日に港区に住民票がある人で、平成27年6月分の児童手当を受給している人
※ただし、児童1人当たりの手当額が5,000円の場合は対象となりません。

給付額 対象児童1人につき3,000円

提出方法 郵送または芝地区総合支所の臨時受付窓口(港区役所1F)への提出となります。
※11月30日までは、芝地区総合支所を除く各地区総合支所および台場分室の臨時受付窓口でも受け付けています。

【問合せ】臨時福祉給付金担当・子育て世帯臨時特例給付金担当 TEL:03-3578-2846(直通)

各給付金に乗じた「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にはお気をつけください

編集だより

▼相羽高徳さんのお話で、驚くような自由な発想やアイデアの中にも、経済性や合理性もきちんと配慮していることに感心しました。(安藤)

▼坂の取材を通じて、思わぬところに思わぬ歴史が隠されていることを知りました。今回もまた高輪地区の魅力を見つけたと思います。(梶)

▼子どもたちの積極的な取材に、見習うことがいっぱいありました。私もこれまで以上に頑張りたいと思います。(増田)

▼坂にまつわるエピソードや名前の由来に秘められた歴史の変遷、人々の生活との深い関わりなどを探るにつれ興味がつきませんでした。(吉田)

▼歴史的に由緒ある高輪四丁目周辺のお話を、楽しくうかがいました。現在の地域は、ビル林立等による変わり様で驚きです。(明石)

▼高輪中学・高等学校ターツ部の活動雰囲気伝わりましたか。ワールドカップは満足いく結果ではない様でしたが、今後の活動に生かして欲しいです。(太田)

▼今回の坂道の取材では、思いがけず、この地域を走っていた都電の歴史にも触れることができました。とても興味深かったです。(川上)

▼イツカさんは御所人形、コマも収集していて、イツカさんから忘れかけていた日本文化のよさを教えられます。(滝川)

▼不遇な動物たちに温かい手を差し伸べていらっしゃる方には、頭が下がります。(田口)

▼子育てに関する取材で、最近の子育て支援の進化を知り、改めて子どもの多い街の活気の源に気付いた気がします。(土屋)

▼時代と共に、人々の装い住宅の形態や乗物も道の幅・形まで変化していた坂道…今回はまるでタイムスリップした感じでした。(本城)

▼ターツにもワールドカップがあることを知り、どんな練習をするのか興味がありました。興味を持ってきつかけ、思わぬところにあるものです。(松島)

▼住まいの近くで生活に必要な買い物、サービスが揃っていた時代のお話をうかがうと、今より豊かな生活がそこにあったような気がします。(森)

区民編集メンバー

- 安藤 洋一(チー)
- 梶 昌夫(サプーチ)
- 増田 祐輝(サプーチ)
- 吉田 由紀子(サプーチ)
- 明石 美穂子
- 伊関 則子
- 太田 則義
- 川上 智子
- 滝川 まりえ
- 田口 理恵
- 土屋 和夫
- 本城 光子
- 松島 佐紀子
- 森 裕子

※この情報は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係 5421-7612 / 保健福祉係 5421-7085